

授業科目 職業関連作業療法学

【担当教員名】 貝淵 正人	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	◎

【概要・一般目標：G10】
 職業リハビリテーションにおける作業療法の位置づけと意義・役割を理解し、障害者への具体的な訓練の方法を学習する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 職業の意義と職業的発達について説明できる。
2. 障害者の就労についての状況と問題点を述べるができる。
3. 障害者復職関連の評価について施行することができる。
4. ICF を使用し就労支援への技法を施行できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	職業リハビリテーションの定義・概念・歴史	1	
2	GATB・VPI・評価の実施とその解釈	3	
3	内田クレペリン検査・職業レディネスチェックと実施	3	
4	職務分析の演習	1・3	
5	障害者の就労の現状	2	
6	職業リハビリテーションの関連法規と制度	2	
7	シングルケース（ICF 使用）にて就労支援の検討	4	
8	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	職業リハビリテーションの基礎と実践	日本職業リハビリテーション学会	中央法規出版	2012・3, 150 円
参考書	職業リハビリテーション学	松為信雄、菊池恵美子	協同医書出版	2006・4, 200 円
その他の資料	プリント			

<p>【評価方法】</p> <p>(1) 出席 2 / 3 以上</p> <p>(2) 評価施行のレポートおよび職務分析レポートを提出</p> <p>(3) 期末試験 60 点以上</p> <p>(1) から (3) まですべて満たした場合に合格とする。</p>	<p>【履修上の留意点】</p> <p>検査は一斉におこないますので遅刻は厳禁。</p> <p>環境にも左右される検査もありますので、受講中バズ以外ではむやみに音をたてないように。</p>
---	--